

読書感想文表彰－10月2日

「親子読書活動で、とても貴重な時間を過ごすことができた」との声をいただき、ありがとうございました。現在も続けていらっしゃるご家庭もあると思います。今年度の読書感想文コンクールに入賞した子どもたちを紹介いたします。



3年 男子 入選『耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ』を読んで

このお話は、耳が聞こえないのに毎日がんばって野球の練習をして、メジャーリーガーになった人のお話です。彼は野球のジェスチャーも考え出しました。この本を読んで、何事にもあきらめずに努力する大切さを知りました。ぼくも、勉強や運動をがんばって、もくひょうに向かって努力したいです。



4年 女子 佳作『小公女』を読んで

小公女のお話は、主人公のセイラがうれしいことやつらくて悲しいできごとを体験するお話です。私はこの本を読んで、人生はとてつらいことや悲しいことがあるけれど、それを乗り越えてこそ、うれしいことがいっぱいあるんだなと改めて感じました。これからも、セイラのようにあきらめずに何があってもがんばれる人になりたいです。



6年 男子 佳作『捨てネコ未来と捨て犬未来』を読んで

ぼくは、子犬のころ人間からぎゃくたいを受けて、足を切り取られ右目も切られてしまった未来ちゃんと、子猫の時に捨てられた未来くんが、すてきな飼い主に出会い、幸せになるという話を読みました。人間が幸せでないと、飼われている動物も幸せにはならないと知りました。

読み聞かせ『オオカミのごちそう』



4年 男子

オオカミがそうそうするブタがだんだん大きくなっていった。最初に大きかったオオカミがだんだん細くなっていった。金のウサギが出てきたり、うさぎのようなおじかだったり、オオカミが細くてにじのような形に見えたりおもしろかった。



4年 男子

オオカミがブタをたべたくて、かんがえているうちにブタが太っていった所がおもしろかったです。でも、逆にオオカミがだんだんやせていってかわいそうでした。いろいろな動物が出てきて、きれいな色だったり、逃げ足が速かったり楽しかったです。